

令和4年度 シラバス (数学)

学番28 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科	科目	単位数	教科書名	副教材名等
数学	数学I	3	新編数学I(数研出版)	新課程 教科書傍用 3 TRIAL 数学I+A (数研出版)

1 学習目標

到達目標、 具体的な取り組み 及び留意点	基礎的な知識の習得と技能を身につけさせるとともに、問題を解くうえで基本的な事項を整理し、それを発展させることにより、数学的な見方や考え方のよさを具体的に理解できるようにする。
授業形態及び 履修条件等	1年次生必履修科目 習熟度別学習

2 学習計画

月	指導単元	指導内容	時間	考査及び 評価方法	評価のポイント
4	第1章 数と式	第1節 式の計算(10)	16	第1回考査	考査の素点 課題 授業の取り組み
5	第1章 数と式	第2節 実数(6)			
	第1章 数と式	第3節 1次不等式(6)	17	第2回考査	考査の素点 課題 授業の取り組み
6	第2章 集合と命題 第3章 2次関数	集合と命題(7) 第1節 2次関数とグラフ(4)			
7	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ(6)	6	7月末考査	考査の素点 課題 授業の取り組み
8	第3章 2次関数	第2節 2次関数の値の変化(6)	13	夏休み課題 テスト 第3回考査	考査の素点 課題 授業の取り組み
9		第3節 2次方程式と2次不等式(7)			
10	第3章 2次関数	第3節 2次方程式と2次不等式(10)	22	第4回考査	考査の素点 課題 授業の取り組み
11	第4章 図形と計量	第1節 三角比(12)			

1 2	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(7)	7	冬休み課題 テスト	考查の素点 課題 授業の取り組み
1	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(9)	14	第5回考查	考查の素点 課題 授業の取り組み
2	第4章 図形と計量	第2節 三角形への応用(5)			
3	第5章 データの分析	データの分析(8) 課題学習(2)	10		課題 授業の取り組み

計 105 時間(50 分授業)

3 課題・提出物等

授業への取り組みが大切となってきます。普段のノートや、授業中に使ったプリント・課題の提出などを予定しています。

授業での補足や演習，また家庭学習における「3 T R I A L」の取り組みについても，ノートやプリントの課題提出などで見ていきます。

4 評価基準と評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察することができる。 社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

【評価方法】 学習状況観察 小テスト 定期考査	【評価方法】 学習状況観察 小テスト 定期考査	【評価方法】 学習状況観察 課題プリントの取り組み 課題提出状況
---	---	--

5 担当者からの一言

最初は教科書の例題を参考にし、次の練習問題を同じ様にして数値をあてはめて解いてみましょう。授業での答えの説明の時にどこが間違っていたのか、すなわち公式の使い方が間違っていたのか、単なる計算ミスなのか、新しい解き方のポイントがあったのかなどを確認しながら答え合わせをして下さい。

授業で学習した内容はその日のうちに問題集で、教科書に沿っている所を復習し反復すると同時に応用・発展問題にも取り組んで下さい。そのことで考える力を養うことができます。ある程度の時間をかけても解けない場合には解答を見ることも必要ですが、納得するまで繰り返して解ける問題のパターンを増やしていきましょう。

(担当：加戸 好孝)